

次年度の公共交通利用促進策(案)について

【概要】

市民の皆様へバスの利用促進とバスを身近に感じていただくことを目標に、バス事業者等の協力をいただきながら、バス路線を利用した利用促進策の実施を検討しています。

現時点ではスタンプラリーを想定しており、具体的な中身や実施時期などについては、今後検討を進めさせていただきます。

【現状と課題】

公共交通は目的地（移動需要）があって利用される手段であるため、公共交通を利用することが自家用車を利用する以上のメリット又はインセンティブが必要。

【考察】

名寄市内を運行する市内バス路線は豊富にあることに着目し、バスを乗り継いで行うスタンプラリーは有効と考える。

スタンプラリーを通じて、路線図と時刻表を「読む力」を培うことは今後のモビリティマネジメントを行うあらゆる面で重要と考える。

【目指すべき方向性】

これまでバスを利用してこなかった階層の新規需要の掘り起こしを図る。

定期的な実施により、これまで意識されていなかったバス路線について広く認知していただく。

【KPI】

・バス利用者数の維持
 （風連線・コミュニティバス・日進ピヤシリ線・徳田線・テマンドバス）
 ※網計画68Pより
 H29：21万人→R5：21万人

実施については新型コロナウイルス感染症の状況を見極めた上での判断となります。

